

広告デザインの現場

意外とスマートではありません

表現としての写真

写真か絵か。

この2つは、デザイン表現の代表的な手法の一つです。例えば、リンゴを広告する時、リンゴを美味しくそうに食べている子どもの写真を使用するか、リンゴからかわいい青虫が顔を出しているイラストを使用するか。写真と絵の違いはありますが、どちらもリンゴに好感を持ってもらえるでしょう。広告デザインでは、写真で表現するか、絵で表現するか、広告で伝える内容や求めるイメージに応じて、適した手法を選択しています。

広告の写真撮影

先日、専門学校の体育館をお借りして、新聞広告のための写真撮影を行いました。カメランの及川氏には体育館

にカメラや照明、スクリーンを設置してもらい、簡易スタジオを組んでもらいました。この日の撮影モデルは3才児から小学生まで9名の子どもたち。学校法人リリー文化学園の60周年記念広告のためモデルとして集まってもらいました。

子どもに四苦八苦

カメラの前に立つと、子どもたちはとても緊張します。大人だってカメラを向けられれば戸惑うものですが、モデルの経験の無い子にとって撮影は未知の世界。表情も体も硬くなってしまいます。そんな子どもたちの気を和らげるために、面白い踊りを踊ってみせたり、ボールで気を引いてみたり、あの手の手で小さなモデルさんの気を引く努力が続きます。欲しい表情、ポーズが撮れるまで、根気良く取り組まなければなりません。

今回の広告コンセプトは「夢はごちそう」。60周年を迎えるリリー文化学園への「ハッピーパースデー」と、リリーが大切にしてきたことを、少しユニークに表現するデザインです。
大きなオリジナルケーキもデ



9/8(火) 茨城新聞掲載



デザインし、笠間のパティシエの根本氏に制作して頂きました。最終的には、巨大なケーキとフォークの写真に子どもたちを合成しました。撮影現場では、巨大ケーキは折りたたみ机で、巨大フォークは体育館のモップで代用することに。デザインの現場は格好良い、素敵、とはいきません。一方、子どもたちはとても楽しかったようです。写真を撮ってもらったこと、いろんなポーズをしたり、衣装を着替えたりしたことが特別な経験になったようです。広告づくりを通じて、子どもたちにとって、夏休みの思い出を残してあげることができました。

もっと気軽に広告映像。

低価格映像制作サービス

最適です!

デジタルサイネージ Web・YouTube 店舗・展示ブース設置

「広告映像=テレビCM=高コスト」だったイメージを払拭する新しい低価格映像制作サービスがスタート。より手軽に映像を導入できるサービスプランをご提供いたします。もちろん広告プロモーションに特化した映像企画・撮影・編集による本格的な広告映像もお任せ下さい。

●お問い合わせ先
T・029-221-4813 www.b-mediaworks.com

